

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月12日更新

事務事業名		地下水採取量報告事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	市民生活部	課長名	上村 祐一郎
	施策	19	水環境の保全			所属課	環境衛生課	担当者名	尾ノ上 明日美
	施策の柱	59	地下水のかん養と河川、池沼の汚染防止			所属班	環境衛生班	(内線)	1143
予算科目		会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番	10205	根拠法令	熊本県地下水保全条例
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	県が地下水保全対策のため採取量の把握を行なうことに対して、報告書を取りまとめ県へ報告する。県の事業であり、委託を受けて行なっている。対象者及び井戸数は減少傾向にある。井戸所有者の協力が難しい。
【業務の流れ】	井戸所有者（使用者）へ報告書の送付、報告書の再送付（未提出者）、事情聴取、報告書を取りまとめ県へ報告
【主な予算費目】	役員費
【意見や要望】	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	井戸所有者（使用者）へ報告書を送付し、報告書の取りまとめ、事情聴取等実施し、県へ報告した。(報告書提出件数：194件 提出率：87%)	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 井戸所有者（使用者）へ地下水採取量報告書の提出依頼を送付し、提出があった報告書を取りまとめ、事情聴取等実施し県へ報告する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件 ア! 地下水採取量報告件数 → イ!	予算の主な増減の理由 文書発送数の減による役員費(通信運搬費)の減
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	地下水採取者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 本 → ア! 総井戸数 → イ!
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	地下水の採取量を把握する	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) % → ア! 報告書の提出数/報告書の送付数 → イ!
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠 成果指標設定の理由：提出率の割合が多いほど採取量報告が適正にされたことになるため 目標値設定根拠：現時点での届出総数		総トータルコスト 全体計画 ～ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込
① 活動指標	ア	件	190	196	206	194	206	206	206	206
	イ									
② 対象指標	ア	本	224	223	222	222	222	222	222	222
	イ									
③ 成果指標	ア	%	85	86	92	87	92	92	92	92
	イ									
投資 入費 量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	24	30	36	36	29	29	29
		(A) 事業費計	千円	24	30	36	36	29	29	29
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	3	4	4	4	4	4
	延べ業務時間	時間	48	340	200	220	200	200	200	
	(B) 人件費計	千円	189	1,329	796	837	796	796	796	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	213	1,359	832	873	825	825	825	

事務事業名	地下水採取量報告事業	所属部	市民生活部	所属課	環境衛生課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 地下水採取量報告書の提出がない井戸所有者がいた。引き続き報告書提出のお願いをして行く。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 地下水採取量報告書の提出を依頼するが、返信がない井戸所有者がいることから目標の達成は難しい。 井戸所有者間での所有者変更の話し合いや手続きが行われていない恐れがある。地下水採取量報告書、変更届及び廃止届の提出依頼は年度初めと年度末にかけて市及び県から行っている。宛先不明での返送が少ないことから、今後も根気強く報告書の提出を依頼する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 井戸所有者、地下水採取者に本事業の趣旨を十分理解してもらい、報告書の提出率の向上を図る。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 類似事業がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 郵送料のみであり削減はできない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 正職員以外の職員でも可能。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地下水を採取している方に報告書を提出していただくことで、熊本地域の地下水の状況が把握でき、対策を講ずること可能になるため公平である。
	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 熊本県地下水保全条例に基づく事務のため役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

井戸所有者（使用者）へ地下水採取量報告書の提出依頼を送付し、報告書の取りまとめ、事情聴取等実施し県へ報告した。
 報告書提出件数（提出率）194件（87%）

4 今後の方向性（事務事業担当課案） (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						